

補助事業番号 28-1-103
 補助事業名 平成28年度 青少年の健やかな成長を育む活動 補助事業
 補助事業者名 公益社団法人「小さな親切」運動本部

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

東日本大震災などの被災地域の子どもたちの創造力を引き出し、豊かで健全な心の育成を助けること。またそれ以外の地域の子どもたちに、被災地の状況を伝えて考えさせる中で、他者を思いやり、痛みを分かち合う心、また郷土（自分たちの暮らす街）を愛する心を育てることを目的とする。

(2) 実施内容

①被災地域における教育支援

ア 工作教室の実施

これまで福島県内の小学校で行っていた工作教室だが、熊本地震の発生を受けて、大分県杵築市の山香児童館で夏休み期間に実施。板絵画家、絵本作家の有賀忍氏が講師となって、普段ゴミとして捨てている牛乳パックやお菓子のパッケージが、自由な発想と工夫次第で、楽しいおもちゃ、メッセージカードになることを子どもたちに伝えた。

※工作教室の様子は、当団体Facebookでも紹介。



ちゃんしのに遊び方を教えてもらいます



好きなおばけの絵を描こう！



大切な人へのメッセージカードにもなる

イ 紙芝居上演の実施

人気アニメの声優さんが、紙芝居を読んでもくれるということで、どの学校も楽しみにしてくれるこの活動。「ちびまる子ちゃん」ブー太郎役の声優で、自らも紙芝居の朗読会や、朗読劇を定期的に行っている永澤菜教さんが、福島県・田村市立常葉小学校で全学年を対象に紙芝居を上演した。子どもたちからは「一人で読んでいる

のに、たくさんの方がいるようすごい」、また学校からは「声優にあこがれを抱く子どもが増えた」といった声が届いている。

※紙芝居上演の様子は、当団体Facebookでも紹介。



声優さんが紙芝居を読んできました



みんな夢中で見入っています！

②被災地域以外の地域への紙芝居教育普及活動

ア [紙芝居を活用した道徳授業の実施](#)

震災から復興しつつある被災地を描く紙芝居「まつりのひ」（昨年度当事業で制作）を教材とした道徳のモデル授業を、1都4県の小学校、計6校で展開。授業は、紙芝居の朗読後に、学年ごとの学習指導案に基づいて、内容や登場人物の気持ちを児童に考えてもらう流れとなっている。思いやりや助け合い、郷土愛といったものを意識するのに有効な教材・授業として、教育現場の評価が高い。

※紙芝居授業の様子は、当団体Facebookでも紹介。



どの場面でどんなことを思ったのか発表



担任の先生と協力して紙芝居を読みます

③ホームページを使った教育活動及び活動紹介

ア [専用ホームページによる各種情報発信](#)

「おうちで遊ぼう」というコンテンツを設け、工作教室で子どもたちがチャレンジするおもちゃの具体的な材料や作り方を、動画でわかりやすく紹介するほか、「学校で学ぼう（先生方へ）」の中で紙芝居授業を各地の小学校で取り組んでもらえるよう、紙芝居動画、指導案、授業実施の際に便利な各種ツールを掲載した。また授業

の中で活用してもらいたい、東日本大震災直後の被災地レポート、復興途上の現地のインタビュー内容も掲載している。



先生向けのコンテンツが充実



おもちゃ作りを動画で紹介

2 予想される事業実施効果

被災地域における教育支援のうち、「工作教室」では、身近な廃物も工夫次第でおもちゃになること、しかも遊び方、使い方すら自分で考えられるという、子どもたちにとって初めての体験をしてもらった。家で兄弟とも作りたい、今日来ていない友達に作り方を教えたい、といった感想も聞かれ、広がりがうかがえた。

「紙芝居上演」を行った小学校は福島県内の帰還困難区域に隣接する場所柄ということもあり、子どもたちも教員も今なお不安な生活を強いられている。そうした中、声優さんに紙芝居を読んでもらったり、ゲームと一緒に楽しんだり、直接さまざまな質問に答えてもらったりと触れあう中で、「夢のような時間だった」「声優さんになりたい」などの感想を抱く子どもも多く、将来への希望を感じてもらえたかと考えている。

被災地以外の地域で行った「紙芝居を活用した道徳授業」は、授業を見学を訪れる教員（他クラス、他学年、他校から）も多く、次年度から自分の授業でも実施したいとの声も聞かれた。また専用ホームページで発信する各種情報を活用し、当団体が訪問した地域以外でも活動に取り組んでもらえるよう、当団体学校会員等にも、広く閲覧を呼びかけているが、平成30年度の道徳教科化を控え、需要が見込まれる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

紙芝居「つなみのひ」（増刷）

専用ホームページ <http://www.kindness.jp/kids/>

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益社団法人「小さな親切」運動本部
(チイサナシンセツウインドウホンブ)

住 所： 〒101-0061
東京都千代田区三崎町2-20-4

代 表 者： 代表理事 鈴木恒夫 (スズキツネオ)

担 当 部 署： 事業推進 (ジギョウスイシン)

担 当 者 名： 五味佑理子 (ゴミュリコ)

電 話 番 号： 03-3263-2866

F A X： 03-3263-3838

E - m a i l： skm1963@kindness.jp

U R L： <http://www.kindness.jp/>